



いつまでも清く咲け「白木蓮」

— 議員の任期満了記念樹 —

贈 昭和六十二年 任期満了議員記念樹

三本の施策を柱に

新年度予算が決まる

一般会計 百二十七億七千六百万七千円
特別会計総額 四十八億四千二百二十七万七千円

地ごもりの虫がはい出る啓蟄(けいちつ)のころ、昭和六十二年第一回定例会が招集されました。

今回の定期会は、三月五日から十九日までの会期が定められ、市長の施政方針演説に続き、新型間接税(売上税)導入の反対に関する意見書を可決した後、市長から提案された二十五議案等が担当委員会及び特別委員会に付託されました。

昭和六十二年一般会計予算は、修正された基本計画に基づき、将来の街づくりの方向を定めていくため、各種調査や研究を行い、行革審の答申内容を尊重して編成した予算であること、市長は施政方針の中で強調しました。

一般会計の総額は、百二十七億七千六百万七千円で、前年度比約五億二千万円、四・三%の増額となっています。

歳入面では、前年度の実績を基に見積り、国民健康保険税と保育料は、諸般の事情からやむを得ずアップされています。

歳出については、三本の施策を柱に編成されました。

まず、「健康で幸せな市民生活を守るための施策」として、地域防災倉庫の設置を進め、自主防災組織に対する補助制度が新設されました。

また、ごみ処理関係では、不燃物圧縮減容機を設置し、処分地を長く使えるようにするほか、成人健康診査や機能訓練等、一層の充実が図られています。そして福祉面では、老人用の緊急通報システムの試行実施やマッサー・マッサージ等、老人対策に重点が置かれています。

次に、「魅力にあふれる住みよい街をつくるための施策」として、福生駅西口駅前広場公園の新設を初め、用途地域の見直しや熊川地区土地区画整理事業の推進、道路整備等、都市基盤整備を中心に進め、中福生公園、熊川緑地の工事費や用地買収費が計上されています。

三本目の柱としての「豊かな人間性と文化はぐくむための施策」としては、第七小学校講堂防音改築や第三小学校及び第一中学校の内装改良等、教育諸条件の改善に努め、振興面では、事業内容の拡充を図りながら屋内外体育館の改善をし、熊川地域体育館の完成に向けての所要経費が確保がされています。

第1回

3/5~3/19

定例会

3月5日	議事録
6日	議事録
9日	議事録
11日	議事録
12日	議事録
13日	議事録
17日	議事録
19日	議事録

第一日目 会期の決定後、昭和六十二年の施政方針演説が市長からありました。

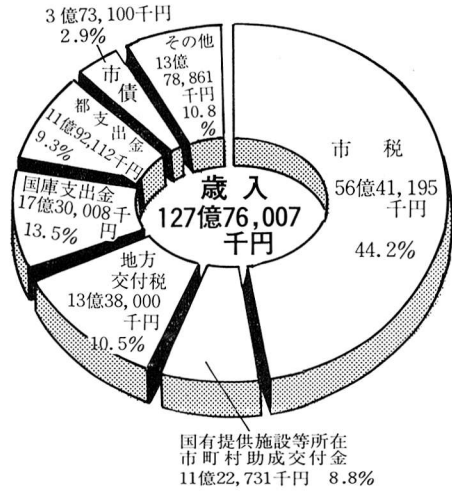
その後、「新型間接税(売上税)導入の反対に関する意見書」が追加提案され、先議の結果、全会一致で可決、引き続き、五人の議員が通告に基づいて一般質問を行い、福祉・教育行政等について、市長の考えを問いました。

第二日目 前日から引き続き一般質問が終了した後、昭和六十二年一般会計予算や特別会計予算のほか、職員の分限条例の一部改正等が提案され、それぞれ担当委員会に付託されました。

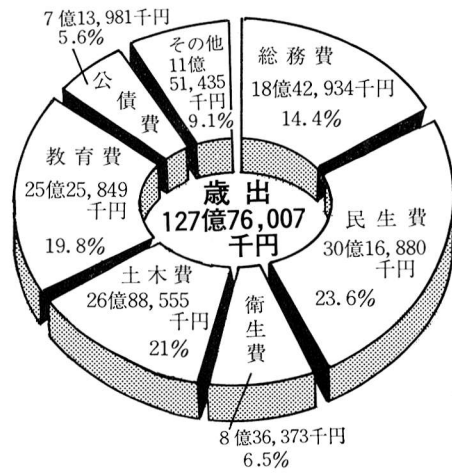
この中で、昭和六十二年の一般会計予算については、予算審査特別委員会を設置し、審査することになりました。

第三日目 各担当委員会等で審査された議案等の審査報告がされ、それぞれ可決、採択されましたが、福生市に非核都市宣言を求める陳情書他一件については、不採択となりました。

特に審査報告の中で一般会計予算を初め七件については、賛成、反対の討論がそれぞれ行われました。



昭和62年度
一般会計歳入歳出款別予算



予算特別委員会の審査から

第一回定例会に提案された昭和六十二年一般会計予算は、予算審査特別委員会（村尾米次委員長、高水惣八副委員長）を設置し、三日間の慎重な審査がなされた後、第三日目の本会議で起立採決の結果、賛成多数をもって可決されました。

滞納整理組合の

設置の考えは

《歳入》

問 熊本市では、一市五町で滞納整理組合を設けて、専門的に滞納整理をしている。専門官や弁護士を置く等、メリットがあるが当市では設置の考えがあるか。

答 滞納整理事務の件について

は、今後、西多摩地域広域行政圏の会議の中で検討する必要があるかと思っている。

また、熊本市の実態を調査、研究させていただきたいと思う。

問 特別徴収の収納率を九九・七〇と見込んでいるが、特別徴収は会社に勤める者から会社が徴収して市に納めるわけだから、当然

一〇〇%と思うがどうしてそうならないのか。

答 会社が給料から天引きして納入することからいえば、当然一〇〇%であるが、中には倒産等をする会社もある。こうした会社は給料から天引きした市税を、他の資金として運用してしまう場合がある、この分を〇・三〇程度見込む必要がある。

問 普通徴収の徴収率を、九三年度に比較すると下がっている。収納しづらいということだが、どうしてか。また、法人は何社か。

答 当市の特殊性として、市民

の移動率が非常に高く、管外へ転出するケースが多い。それでかなり徴収に手間がかかるという実態がある。

法人数については、九百十社を見込んだ。

基地を民有地並みに

課税した税収は

問 横田基地を一般民有地として課税した場合、税収はどのくらいになるのか。また、国の予算が伸びていないが、どう考えるか。

答 基地を民有地として課税した場合の税収は、基地の面積が、当市の三分の一に相当し、残りの三分の二に対する固定資産税が十六億円であるから、単純に計算して約八億円程度と考えられ、基地交付金の方が多い。

しかし、基地交付金を算定する評価額に固定資産税率を掛けると、約十五億七千万円となり、交付金の方が少なくなる。

基地交付金は五十六年度の臨調第一次答申から伸びがなく、国の予算も非常に厳しいが、今後、基地を抱えている市町とともに運動をしていきたい。

問 売上税については、国がどうするかこれからだが、予算も変えなければならぬ可能性もあると思う。その対応をどう考えているのか。

答 地方交付税は現在国税三税の三二％であるが、その七分の一が売上譲与税という形で入ってきて、残り七分の六の二〇％を交付税の総額にリンクさせる。したがって三税が四税になると考えてよいと思う。

また、地方譲与税の額はかなり増額できるとの国の説明である。



賛成多数で新年度予算成立

— 特別委員会 —

国鉄の民営化に伴う

運動の方法は

《歳出》

問 渉外費の中に、八高線八王子高麗川間復線電化促進協議会等に対する負担金が計上されているが、国鉄は四月から民営化され、従来と形態が変わってくると思うが、今後、どう働きかけるのか。

答 六十一年度の活動は、今までの国鉄に対する協議会の活動を確実に新会社に引き継いでいただけをお願いを中心に展開してきた。

六十二年以降は、協議会も原点に立ち返って、新会社にどう運動を展開すべきかということを検討しなければならないと思う。

問 決算委員会でも指摘したが、庁舎増築基金への積立金が二億円を越す計上であるが、新年度から具体的に計画が進むのか。

答 新年度から取り組みたい。具体的にはプロジェクトチームで事務的な話めを行い、一定の案をもって議会に相談するとか、特別委員会を設置するとか方法があるのかと思う。一応事務的に詰めが終わった段階で相談したい。

問 電算機関係のプログラム使用料が大幅にふえているが、新たにコンピュータ化される事業はどんなものがあるのか。

また、ワードプロセッサを五台購入するようになっていながらどこへ配置するのか伺いたい。

答 電算関係については、お陰さまで住民情報が昨年の八月から稼働している。その後、いろいろと検討してきたが、四月から関係及び財務会計制度が電算化される。

次にワープロの件は、六十一年度の二台を合わせ七台を、それぞれ各部局単位に配置する予定である。

問 六十二年度の民生費は三十億円を越え、他の予算と比較して最高であるが、この中で市民福祉の向上のために自信を持って編成した項目があったらお示し願いたい。

答 金額の大小は別として、まず老人対策として緊急通報システム、老人マッサージサービス、さらに福祉パンフレット、福祉センターの調査、保育園の事故賠償保険加算金の補助等が新規事業で、

このほかには、田園会館のバドミントン用ネットフェンスの設置、敬老大会の経費の増額等、一般的にレベルアップしている。

不燃物圧縮減容機

騒音の心配は

問 不燃物圧縮減容機の操作は、現状の体制でできるのか。また、騒音等の公害の心配はどうか。

答 ビニール系の物を対象に十分の一ぐらいに圧縮して、埋め立てようとするものである。これは九十平方メートルほどの建物の中に設置するが、騒音の心配は全くない。また、現状の体制で十分対応できる。

問 土木総務費の中に、建設関係調査委託料とあるが、具体的な内容を説明してほしい。

答 この委託料については、これから検討していく事業のうち、現在の市の能力では調査しきれないものの調査委託で、市民会館の地下駐車場とか、福生駅周辺の開発あるいは、旧一六号線の連絡路の整備等である。

「みずくらいど」の

保護対策は

問 新設される熊川緑地の区域内に、玉川上水旧堀跡、通称「みずくらいど」があるが、この史跡の対策はどう考えるか。

答 計画緑地の中に「みずくらいど」があるが、工事関係では一切手をつけず、原形のまま保存しておく考えている。

図書館利用券の

共通化を

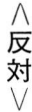
問 図書館の業務も電算化され非常に利用しやすくなったが、現在の利用券を共通化させ、一枚の利用券で二十六市等、どこの図書館でも使え、利用できる体制がとれないか。

答 一枚の利用券で、どの図書館も利用できれば理想であるが、現時点では電算機やコードの関係から難しい。

今後の検討課題とし、西多摩地域広域行政圏の中で研究したい。

市民を擁護する

施策のない予算



討 論



厳しい状況下でも

健全予算

★政府は、臨調行革路線による補助金の削減、受益者負担の強化を強行しており、当市でも、国庫補助金を2億円減額され、これとは逆に市税は前年度比5.2%も増額になっている。

また、基地交付金は0.2%の伸びで、固定資産税の4.8%の伸びと比較して見ても、いかに大きな負担を市民にさせているかがわかる。こうした状況下である以上、市は市民を擁護する姿勢が必要である。

福祉政策を見ても、老人入院見舞金制度の予算化がなく、保育料の大幅値上げが予算化されており、また、教育政策では、前年とほとんど同様で、中学校給食の完全実施は、62年度も見送られている。

これらの実施に当たっては、都市施設整備基金や財政調整基金を活用すれば可能であり、わずかな予算で実施できる。

このような市民擁護の施策のない、本予算には反対である。

★予算委員会の審査を経て、本予算は、福祉、教育政策等、細部にわたり問題のあることが明らかになった。ここでは予算の骨子をなす基地交付金に関し、反対の討論をしたい。

歳入の中心である基地交付金の算定基準は、基地面積の固定資産税に当たる分が交付金として交付されるということだが、質疑を通して、実際はそうでないことがわかった。

このことから、どんな根拠で交付金が計算され交付されているか疑問であり、このような財政基盤が続く限り、当市の財政は常に脆弱のうえ不安定であって、依然として基地依存型の予算である。

よって、本予算の基本的な構造や骨格、内容等随所に問題があり、これに関連する市民軽視の政策を含めて反対である。

★本予算は、修正基本計画に基づいて編成されたものであり、国のゼロシーリングという中で、前年度比4%余りの伸びである。

また歳入から見ると、市税は5%の伸びを見込んでおり、この程度の負担であれば市民にも納得していただけるものとする。

歳出では、民生費が30億円を突破し、土木費を抜いて最高となったことは、福祉面の充実がいかに力を注いだかがうかがえる。

少ない財源をやりくりして、今後の財政調整基金に積み立て、今後の財政需要の増大に備えることは、非常に賢明であり、財源が余ったからといってばらまき行政をしても、市民の要求をすべて満たすことは至難である。

また、総務費の30%の増は、庁舎増築基金を2億円余り積み立てたため、これ以外については経常経費が大部分である。

なお、基地関係予算を取り巻く状況も厳しいが、都市部に存在する横田基地の特殊性を強調し、交付金の増額に努められるよう付言し賛成する。

★本予算は、円高不況による経済の沈滞や、売上税の導入の問題、国保財政の急迫、補助金の削減等、難しい状況下にもかかわらず財源の確保に努め、また、行革審の答申に基づく経費の合理化や、財源の効率的運用、重点的配分等、編成に当たっての努力がうかがえる。

歳入面では、税収の予算に占める割合が、44.2%で都下26市を比較すれば少ないが、全国的には3割自治と称し、その割合が3割以下のところもある。しかも市税は、国の地方財政計画を上回る、前年度比5.2%の増であり、都支出金も25.8%と大幅に増額されている。

歳出においては、都市基盤の整備をはじめ、熊川緑地や中福生公園の建設が計画され、教育施設面の中には、七小講堂の改築、熊川地域体育館の建設等、教育諸条件の整備にも力を傾注している。

また、社会文化面では、内容の充実が特に図られており、本予算は健全かつ適切と判断できるので賛成する。

一般質問



団地内の公園整備

市でできないか

質問 公園は市民の憩いの場であり安らぎの場でもある。各団地内にある公園には、トイレや水道

がない状態である。

市との公園と同じように、施設を

充実すべきだと思いませんか。



市では整備が難しい団地内公園

市長 公社・公団住宅の共同施設の維持管理は、共益費で賄われていることは承知している。

加美平の公園は公社のもので、所有権の譲渡はできないということであり、市としても整備ができない。今後の建てかえ時に協議したいと思う。

建設部長 公社側では、将来の建てかえ計画等から、市への譲渡には支障があるとのことである。

公園は団地専用の施設と位置づけており、その住居者が主として利用する施設であると判断している。

長寿社会の到来

対策の充実を

質問 高齢化社会に向けて、老人福祉の充実が緊急の課題となっている現在、次の三点について質問したい。

第1回定例会では5人の議員が一般質問を行いました

① 老人の命と暮らしを守るため、老人の入院見舞金制度を設ける考えはあるか。

② 市施策でのデイ・ケアと老人憩いの家の設置は。

③ 寝たきり老人対策の充実、あるいは痴呆性老人対策の考えはあるか。

市長 ① 検討の余地はあると思うが、現段階では、痴呆性老人対策のヘルス事業の充実を優先していきたい。

② 老人の孤独感の解消や家族の負担軽減のためにも大切な施策と思うので、総合福祉センター建設と合わせ検討していきたい。

③ 国の老人保健施設の計画と合わせ、在宅介護対策の充実を考えていきたい。高齢化の進む中で、痴呆性老人も増加しているため、十月開設の特別養護老人ホームにも協力をお願いし、保健所とも連携を密にやっていきたい。



大きな社会問題となっているエイズ禍

エイズ対策の 具体的な方法は

質問 現在エイズ問題で社会が騒然としているが、発病すると治療もないため、三年以内に死亡するという恐ろしい病気である。

当市には横浜基地もあり、その対策を十分備える必要があると思うが、その具体策を聞きたい。

市長 エイズ問題は、今や世界的な問題となっているが、当市には米軍基地もあって不安な面もあると思う。基地側の通報では全員の検査結果はすべて陰性で、万一、陽性者が出れば即刻本国に帰還させるとのことである。

フライバシー保護等の問題もあり、国で法制化された段階で保健所と協議し、また、医師会の協力体制についてもお願いしていきたい。

理容所等には、その消毒の指導もされている。市民に対し、保健所だよりや市の広報で、エイズの相談窓口とか血液検査のPRをしている。

早期に四中の建設と 40人学級の実現を

質問 一中や二中もマンモス校のためいろいろ問題も起きており、生徒全体に行き届いた教育は無理である。

将来の市を背負う子供達に、すばらしい教育を受けさせるために、四中の早期建設と四十人学級を実現すべきだと思うがどうか。

教育長 法律上では、施設をつくるのは市長で、管理は教育委員会となっている。現在二中では二十三学級であるが、都下では二十四学級以上の学校が二十四校もある。

を開く等、連携を密にしており、校長とも協力して問題の起こらないよう努力していきたい。現在の学級数や学校数で、一生懸命やっしていきたいと思う。

教育次長 生徒数からすると、一中のピークは六十年で約八百六十人、その後は減少し六年後には七百五十人程度となる。また、二中では六十二年で九百六十五人、その後は減少し六年後には八百三十人程度となり、生徒数の推移からすると、四中建設の結論を早期に出すことはないと思う。

四十人学級は、小学一年生で実施しており、六十六年度にはすべての学年が実施される。中学校も六十四年から実施予定で六十六年度にはすべての学年が実施される計画で進めている。その間は校長を初め教職員が一体となって指導体制をとり、家庭や地域とも連携をとって対処していきたい。

近隣市町の中学校と毎月検討会



都立総合福祉センターの

誘致の考えは

質問 高齢化社会の到来とともに、今までの福祉サービスのあり方も考え直さなければならぬ。

市では、福祉会館の建てかえについて検討中であるが、広域的地域から、都立の総合福祉センターを誘致し、医療機関と併設する考えはどうか。

市長 大変新しい提言であるが、西多摩地区には福祉施設もなく、格差があると思う。そのため都の心身障害者福祉センター等の誘致をし、市施設と併設できれば理想的と思うので、今後十分検討してみたいと思う。

移管される都道

今後の整備計画は

質問 現在、都道となっている体育館から清岩院橋を通り、駅前通りから福生病院方面に向う都道一六六号線は、いずれ市道として移管される予定であるが、今後の整備計画について聞きたい。

市長 移管について都と協議中

であるが、地域生活の道路として他の市道とのバランスを基本に、沿道住民の意見を伺いながら整備していきたい。

建設部長 駅西口から一方通行の道路は、できれば六メートル程度の幅員で整備したいが、家屋も密集しているのので、同じ幅員は困難と思われる。しかし、駅にも近い場所なので、極力整備する方向で進めたいと思う。

熊川駅の跨線橋

設置できないか

質問 熊川駅の利用客も年々多くなっているが、北側の人が駅を利用する場合には、交通量が多くて危険な踏切を渡らなければならぬので、跨線橋を設置してほしいとの声があるが、市の考え方はどうか。また、西側の踏切整備計画と奥多摩街道の進捗状況を聞きたい。

市長 線路をまたぐ橋となるとかなりの広さが必要となる。熊川駅周辺の開発計画として考え、当面は利用状況等を調査したいと思う。西側の踏切は、奥多摩街道の拡幅に伴う立体交差の計画があ

第1回定例会を傍聴された方々

中山	和子	山中	和子
清吉	文子	畑	芳子
秀吉	芳子	金子	完治
光子	完治	星野	小林
朝	眞志	比留間	田村
朝	正秋	秀子	
公子		光章	
松永		古畑	
木下			
春浪			
久雄			
孝夫			

議会 日誌

17日	13日	12日	5日	3日	2月	29日	27日	26日	23日	19日	16日	1日	
横田基地対策特別委員会	設促進協議会第二委員会	三多摩上下水及び道路建設促進協議会	八高線電化促進陳情	三多摩上下水及び道路建設促進協議会	全国市議会議長会評議員会	全国市議会議長会評議員会(4日まで)	全国市議会議長会基地協議会総会	全国市議会議長会基地協議会	全国市議会副会長・監事・相談役会議	第一回臨時議会	全国市議会副会長・監事・相談役会議	第一回臨時議会	東京都市収益事業組合臨時議会

交通安全施設の

充実を図れ

質問 ① 公道には反射鏡等整備されているが、公道と同じ効果を発揮している私道には未設置場所も多い。交通安全上からも整備すべきと思うがどうか。

② 最近はかなり道路も整備されてきたが、市道の舗装率や私道整備計画について聞きたい。

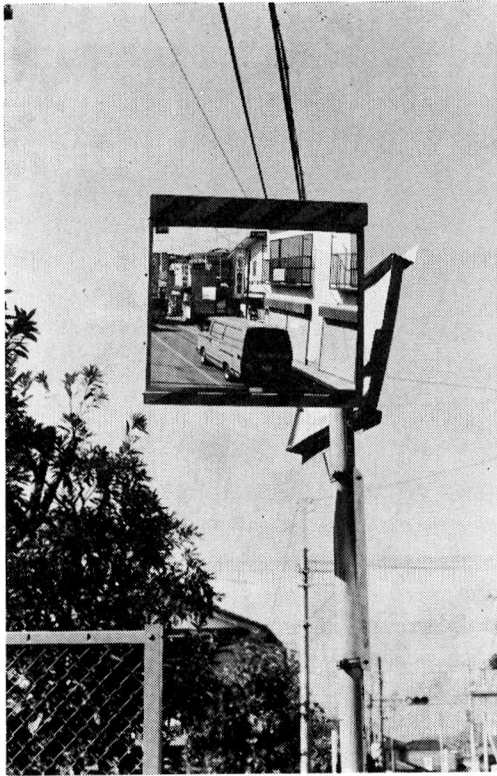
③ 側溝にふたのない道路も多い。高度利用や環境上からも、ふ

たをしたらどうか。

市長 ① 反射鏡設置を計画的に実施しているが、公道に接する私道で、危険と思われる所には、警察署と協議して設置したい。

② 六十一年度末で市道の舗装率が九六・五五％と高率である。私道整備の規則も運用面で改正したいと思う。

③ 市道は生活道路としての役



公道に多く設置されている交通安全施設

割が強く、幅員も狭いので交通安全上も配慮し、できるだけ有効利用を図り、計画的に整備したい。

建設部長 ① 六十二年度では公道に約三十二基を予定している。

② 私道の未整備数は、三百四十本程度で、四月からは規則も改正し申請等手続きを簡素化したいと思っている。



健全育成のため

武道館の建設を

質問 青少年の健全なる身体と豊かな心をはぐくみ、非行防止にも役立つ武道館を建設する考えがあるか。

教育次長 現在の体育館では機能面で不便をかけており、柔剣道の愛好者からも武道館建設の要望も伺っている。将来的には体育館の改築時に十分配慮していきたい。その間は現在の施設や建設中の仮称熊川地域体育館を利用していただきたいと思っている。

3月	27日	26日	25日	20日	18日
3日	27日	26日	25日	20日	18日
狭山火葬場組合議会	多摩地区離職対策連絡協議会	多摩地区消防運営協議会第二部会	三多摩地区消防運営協議会	三多摩上下水及び道路建設促進協議会第一委員会	建設部員研修会
5日	27日	26日	25日	20日	18日
第一回定例会(第一日目)	多摩地区離職対策連絡協議会	多摩地区消防運営協議会第二部会	三多摩地区消防運営協議会	三多摩上下水及び道路建設促進協議会第一委員会	建設部員研修会
6日	27日	26日	25日	20日	18日
第一回定例会(第二日目)	多摩地区離職対策連絡協議会	多摩地区消防運営協議会第二部会	三多摩地区消防運営協議会	三多摩上下水及び道路建設促進協議会第一委員会	建設部員研修会
9日	27日	26日	25日	20日	18日
昭和六十二年度福生市一般会計予算審査特別委員会(11日まで)	多摩地区離職対策連絡協議会	多摩地区消防運営協議会第二部会	三多摩地区消防運営協議会	三多摩上下水及び道路建設促進協議会第一委員会	建設部員研修会
12日	27日	26日	25日	20日	18日
建設委員会	多摩地区離職対策連絡協議会	多摩地区消防運営協議会第二部会	三多摩地区消防運営協議会	三多摩上下水及び道路建設促進協議会第一委員会	建設部員研修会
13日	27日	26日	25日	20日	18日
厚生委員会	多摩地区離職対策連絡協議会	多摩地区消防運営協議会第二部会	三多摩地区消防運営協議会	三多摩上下水及び道路建設促進協議会第一委員会	建設部員研修会
17日	27日	26日	25日	20日	18日
総務委員会	多摩地区離職対策連絡協議会	多摩地区消防運営協議会第二部会	三多摩地区消防運営協議会	三多摩上下水及び道路建設促進協議会第一委員会	建設部員研修会
19日	27日	26日	25日	20日	18日
議会運営委員会	多摩地区離職対策連絡協議会	多摩地区消防運営協議会第二部会	三多摩地区消防運営協議会	三多摩上下水及び道路建設促進協議会第一委員会	建設部員研修会
第一回定例会(第三日目)	多摩地区離職対策連絡協議会	多摩地区消防運営協議会第二部会	三多摩地区消防運営協議会	三多摩上下水及び道路建設促進協議会第一委員会	建設部員研修会

多摩川沿線の道路建設と

河床整備は

質問 過去において多摩川河口付近から青梅市周辺まで堤を利用した道路建設の計画があったが、自然環境等から中止になった経緯がある。最近の交通渋滞を解消するため多摩川沿線の市と協力し、高速道路として建設したらどうか。

また、河床も砂利が累積し、大雨が降ると決壊する恐れがあるので、早急に対策をとるべきだと思いがどうか。

市長 河川敷を利用した道路を建設することにより一六号の交通渋滞の解消に、大いに役立つものと思うが、都の自然保護条例や国の多摩川河川環境管理計画等から、実現は困難のようである。

昨年の多摩川サミットのフォローとして協議会もできるので、その中で検討していただくことも考えられる。

河床対策として、以前から河道整備について建設省にも要請しており、今後も全力で対処していきたい。

議員表彰

東京都市議会議長会では、議員として永年地方自治に功績のあった方々を表彰しております。

昭和61年度においては、去る2月18日に、次の議員が表彰されました。

正副議長3年以上

森田 治 男

議員15年以上

宮 沢 良 一 田 村 市 郎

議員7年以上

遠 藤 洋 一 小 野 沢 久
加 藤 謹之助 仲 村 清 信

道路整備を拡充し

魅力ある商店街に

質問 関係者の努力により、国道沿いの商店街も立派になったが、より一層魅力ある商店街として活性化させるため、福生駅東口から国道までの道路を、歩行者優先道路として整備する考えがあるか。

市長 国道の拡幅整備のチャンスに、モデル商店街事業として実施したが、沿道型商業から脱皮し、

広域的商圈とする必要がある。

東口の富士見通りも都市計画道路として、八高線の立体交差を含め、幅員十六メートルで歩道も完備される。六十四年度には調査もできるよう、早期事業化に向けて努力していきたい。

建設部長

国道に向かう市道は、生活道路が多く狭いわけであるが、商店街への連絡道路としては、歩道を含め幅員を広くとった道路として、整備することが望ましいが、なかなか困難な面もあるので、側溝改良等で逐次整備していきたい。

仮称熊川地域体育館の

管理運営は

質問 仮称熊川地域体育館建設に当たり、いろいろと曲折がありようやく着工したが、この運用にあたっての職員配置を伺いたい。

教育次長 職員については、増員することは困難であり、現在の体育館職員と合わせ指導員の確保に努力したい。

具体的には職員による直接管理方式で、一部の事務や指導員は委託方式、メンテナンスサービスについては施設、設備の保全を委託したいと思う。

また、運営面では、市民の要求を考慮し、極力初心者を優先に必要に応じて指導、助言等のサービスに努めていきたい。



都立保育園

市への移管条件は

質問 保育料も国基準の六〇％にもっていくための値上げをしているが、こうした改定の手順の問題とか保育料の条例化についてはどう考えているか。また、都立保育園の移管に伴う当市の条件、職員の問題について聞きたい。

市長 専門委員の答申を得て保育料を改定し、規則により実施してきたが、団体委任事務後も従来の方法で実施する考えである。こ

れは自治法による分担金等の性格と異なり、特別法の徴収金として市長が定めることになっている。

移管による条件として、都から福生、熊川両保育園の改築等は全額都負担、福生保育園の借地は都で買取し、市に無償貸与すること等が決まり、すべて要求が受け入れられたので、四月から移管することとした。

職員の身分も都が責任を持つと



都から移管された市立福生保育園

議会を傍聴

しましょう

次の定例会は

6月です。

いうことである。

職員の交通安全対策

その後の対応は

質問 昨年の四月に不幸な事故があり、市でも安全対策として二人乗務や交通安全日を定めて努力をしているようだが、その後の対応について聞きたい。

市長 昨年の事故を契機に、自動車の管理規程を定め、運転に対する管理体制の確立を図る等、その対策に努力し、月一度の安全確認の日を定め全職員に注意を促している。

総務部長 公用自動車の管理規程とか安全確認の日として、毎月十日に全職員に交通安全について徹底を図っている。また、車での

作業等業務の実態に合わせ二人乗務とし、その他は所管の部課の判断としている。

関心の高い売上税問題

地方自治体への影響は

質問 今、売上税問題に国民の関心が非常に高まっている。この税制が改正されると地方自治体にも影響があるということであるが、当市の場合はどうか。

市長 この間接税といわれる売上税は、税制改革の大きな柱であり減税財源の確保のために導入されるものと理解している。

実施による影響はあるが、現時点では政省令等の資料もないので、詳細は不明の段階である。

企画財政部長 税制改正によって電気、ガス税が廃止され、来年一月、二月に影響があり、また、所得税の減税による減収もあるが、この財源措置としては売上税と地方交付税で補てんされるので、さほど影響はないと思う。

また、公共事業の入札価格等については、政省令もないのではつきりしない段階である。

社会体育の

将来計画は

質問 仮称熊川地域体育館の建設に伴う具体的な人員計画や社会体育の将来計画について聞きたい。

教育次長 この体育館には、二名の職員を配置する考えである。将来的には福生地区にも建設することになると思うが、規模や管理運営等は検討機関を設けて協議することになる。

基本構想では、体育、スポーツを通じて市民の健康と体力の維持、増進を図り、地域の連体感の強化を図る等の目標を掲げており、その方向で今後も努力していきたい。

議会は公開制です

議事録の閲覧は市立中央図書館どうぞ

電話 53—3111

意見書

首都圏中央連絡道路建設促進に関する意見書

わが国の産業経済の分野における交通輸送の手段として、自動車輸送が大きな役割を果たしていることは周知の通りである。

現在、多摩地域における南北方向の幹線道路は、国道一六号線のみであり、深刻な交通渋滞が恒常化しているとともに、一般通過車輛が生活道路まで侵入し、交通事故が増大している現状である。

環境影響評価書案によると、自然・生活環境の保全を図りつつ道路建設を進めていく上の配慮がなされていると思料される。したがって、多摩地域の将来の中核的都市としての形成を考える上において、都市間を結ぶための幹線道路を整備することは、重要かつ急務な課題である。

よって当市議会はこのような交通事情の解決と、多摩地域の活力向上、発展を図るために、首都圏中央連絡道路の早期完成を強く要望するものである。

以上、地方自治法第九十九条第二項の規定により、意見書を提出する。

(この意見書は、内閣総理大臣、大蔵大臣、建設大臣、東京都知事に送付しました)

新型間接税(売上税)導入の反対に関する意見書

政府は、税制改革の基本方針として新型間接税(売上税)を導入するための法案を提出しようとしている。

この新型間接税(売上税)は、課税ベースが広く、大衆課税となるものであり、これが導入されると、物価の上昇や消費者の購買力の低下を招き、ひいては雇用の不安や中小企業の経営圧迫等、住民に様々な影響を与えると共に、特に低所得者層にとって負担が重くなることが憂慮される。

よって、当市議会は、政府に対して、新型間接税(売上税)の導入を断念するよう要望するものである。以上、地方自治法第九十九条第二項の規定により、意見書を提出する。

(この意見書は、内閣総理大臣、大蔵大臣、自治大臣に送付しました)

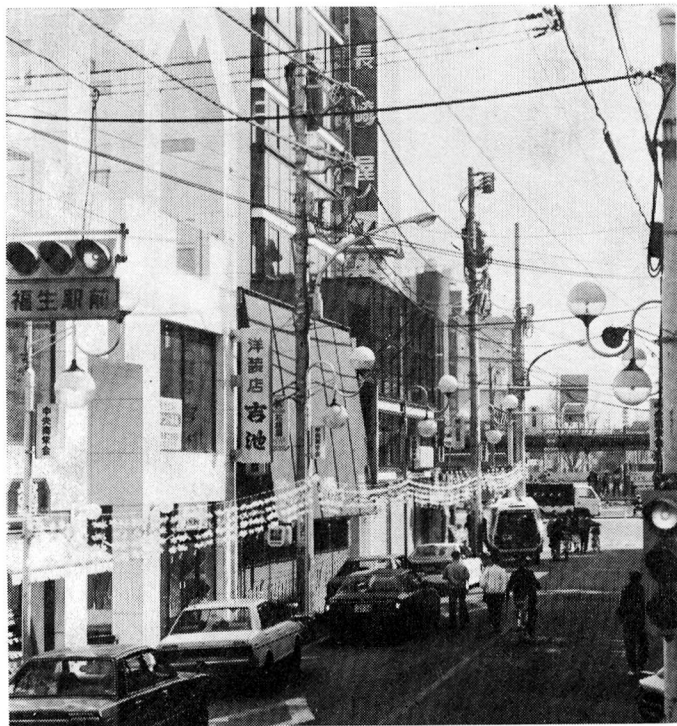
商業活動の

実態調査の実施を

質問 西口の再開発も、商業活動上、社会経済の情勢変化等から、関係者の意欲も盛り上がりから今日に至っている。そこで当市の商業活動の実態調査や商業診断等の資料収集の実施、あるいは道路

網とか公共施設の整備について伺いたい。

市長 最近の商業環境は、非常に厳しいものがあり、市としても今後の都の指導により、駅周辺の商業状況の調査や診断をし、人の



活性化が待たれる福生駅西口商店街

流れとか買物動向等を明らかにしていきたい。

西口再開発については、市でも橋上駅舎化や旧駅舎跡に広場等、公共施設の整備を進めているが、駅に近い第一街区の気運も高まりつつあるので、この醸成に努力していきたい。

建設部長 西口も交通量が多く道路も狭いわけで、この交通の流れについても警察側との関係もあって思うにまかせないが、抜本的には再開発等によって、道路網を整備するのが解決策と思う。

駅前広場は六十二年度に整備を行うが、駅舎も北側に移ったので利用者の利便を考えた整備を実施していきたい。

米韓合同演習

市長の見解は

質問 ① 米韓合同演習が二月十九日から約八十日間行われるというところで、横田基地もこの演習に参加する予定である。このような危険な演習は中止すべきと思うが市長の見解はどうか。

② 先日厚木基地でセスナ機が墜落したが、横田基地にも飛行ク

ラブがあって低空を飛んでいる。このクラブの実態等はようになってくるのか。

③ 毎年申し入れをしている正月三日の飛行状況と、二月から二月までの離着陸数を聞きたい。

市長 ① 事前に司令官より連絡があったので、騒音や事故防止に万全を期するよう申し入れた。

② 飛行クラブの会員は約百三十人で、セスナ機が五機あるとのことである。これは軍属等の福利厚生事業の一環として日米地位協定によるものであり、やむを得ないと思う。騒音や事故防止にはより一層万全を期するよう申し入れたいと思う。

市民部長 ③ 正月三日の離着陸数ですが、今年の元旦は十四回、前年が十二回、二日が今年三十四回、前年が百九回、三日は今年十二回、前年が百三十九回となっている。十二月から二月までの離着陸数は、十二月が千五百二十四回で前年より三百九十三回の減、一月が千二百八十二回で九百五回の減、二月が千五百十七回で百二十一回の増となっている。

質問 米韓合同軍事演習が行われているため、飛行機の離着陸数が多く、市街地を低空で飛んでいる。

市長は、市民の命と暮らしを守る立場から、この演習をどう考え行動をとったのか。

市長 この演習については、事前に基地司令官より口頭で連絡を受けたが、内容が軍事的、国際的問題であり、中止要請等はしていない。

演習期間の騒音、安全性、特に事故防止には万全を期すよう申し入れた。

水資源対策として

中水道計画を

質問 最近の高層住宅化により、将来の水資源対策としての中水道について、多摩川上流の下水道終末処理場に加えする五市二町と都で協議する考えはあるか。

市長 水資源の効率利用を図る上で、処理水等の再利用をするための中水道整備は、将来の行政課題である。中水道の利用を図る目安として、再利用水量が一日百立方米以上といわれ、公共事業とし

て整備する場合、国の方針が明らかになった段階で、関係市町村と協議したいと思う。

第一回

臨時会

昭和六十二年第一回臨時会が一月二十九日に招集され、昭和六十二年度福生市一般会計補正予算（第八号）外四議案が可決された。また、議員提出の首都圏中央連絡道路建設促進に関する意見書が可決され国へ送付しました。



採択

○陳情第六十一—十一号 福生市田園地区隣接河川敷に自然公園の建設に関する陳情書

南田園三—一四—一〇

松尾 四郎氏

—昭61・11・18提出—

○陳情第六十二—四号 公立小・中学校での四十人学級早期実現に関する陳情書

熊川八八八

熊川八八八

松尾 輝昭氏

福生二三—二一—六

小林 康昭氏

牛浜一三三

吉岡 一雄氏 他百五十三人

—昭62・3・3提出—

○陳情第六十二—五号 都立定時制高等学校の学級増に関する陳情書

熊川八八八

松尾 輝昭氏

福生二三—三一—六

小林 康昭氏 他九十七人

—昭62・3・3提出—

不採択

○陳情第六十二—二号 福生市に非核都市宣言を求める陳情書

福生市二四—一五—一二

斉藤 修氏

—昭62・2・27提出—

○陳情第六十二—三号 「非核・平和福生市宣言」制定に関する陳情書

北田園二—二四—一〇

長田 紀彌子氏

—昭62・3・2提出—

○請願第六十二—一号 保育料の値上げに反対する請願書

福生一一—四八

森本 公夫氏他三百三十五人

—昭62・3・2提出—

取り下げ

○陳情第六十二—一号 生活協同組合運動発展のための意見書提出に関する陳情書

志茂一二六

片岡 久子氏

加美平一—一三一—一

深瀬 正史氏 他千六十人

—昭62・2・23提出—

この四月で私も議員の任期も満了となります。その間福生市に住んでいてよかったと思われるような市にするため、議員一同努力をしてきましたが、そうした議会活動の状況をこの議会報でお知らせして頂きました。

限られた紙面であり、意を尽くせない部分も多くあったかと存じます。新議会となりました。是非ご愛読をいただき、ご意見等を賜われれば幸いと存じます。

おわりに、市民の皆さま方のご健勝を心からお祈り申し上げます。お礼といたします。

編集委員会より